

【第1号議案】

令和4年度事業報告~~（案）~~

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

令和4年度は、「ウィズコロナ」を前提に経済活動が正常化の方向へ徐々に進んできたことは明るい動きとなりましたが、長期にわたるコロナ禍と緊迫する国際情勢に起因する供給制約、エネルギーや原材料価格の高騰、さらには歴史的な円安の影響など非常に大きな変化が起きた一年となりました。

一方、自動車整備業界にあつては、電気自動車や自動運転技術の普及に伴い、技術の高度化や人材不足が課題となりました。特に「自動車特定整備事業」は、今までにない電子制御装置の整備とセキュリティの確保が求められ、整備士の既存知識範囲外の技術と高度化等のスキルアップが不可欠となっております。併せて、整備士資格の制度の見直しも進み、業界全体のレベルアップが図られているところです。

このような状況のもと、当支部では昨年度に引き続き、振興会練馬支所と連携し「特定整備主任者資格取得講習(実技・試問)」を開催、参加会員の資格取得の一助となる活動を実施いたしました。また、「電子化への対応」をテーマに青年経営研究会との合同による研修会を開催、都整商が販売する安全靴・作業服を購入された会員各位へプレゼント商品を選んでいただく「城西支部プレゼントキャンペーン」等を実施、多くの会員の皆様にご参加いただきました。

三年ぶりとなる関東運輸局東京運輸支局主催の「街頭検査」への協力をはじめ、「マイカー一点検教室」、「忘年会」「支部合同新年旅行会」等を開催いたしました。

さらに、東整振本部、練馬ブロック、指定工場部会、練馬ブロック青研、城西支部青研との緊密な連携をとり、一部の会議をオンライン(WE B会議)で実施するなど、各種事業の推進を柔軟に対応いたしました。

年度末には研修会費の効果的な会員への還元として「図書2点セット」を全会員へ進呈させていただきました。

会員各位のご理解と絶大なるご協力に感謝申し上げ、以下のとおり令和4年度の実業活動をご報告いたします。